

施設関係者評価実施報告書

R4年 3月31日

報告者氏名

岩橋 法彦

評価者氏名

小田松美、財津文治、
諫山沙織、立花秀樹

①全体評価

コロナ禍2年目であったが昨年同様出来るだ限り保育の保障が出来るように対応をしてきた。園内で陽性者が確認された時の対応はとても大変であった。感染対策を取りながらの保育であるが、全体的に目標に達成している。

②学校評価の個別評価

教育課程・指導

全体の計画・教育・保育課程やそれぞれの計画書を作成し其れにもとづいて保育を行っているが、計画の見直しも必要などころがあった。チームとして保育、教育ができるように、職員通しの話し合いを進めていくことがもう少し必要である。

保健管理

コロナウィルスの陽性が確認された時、園児が濃厚接触者になったときの対応が戸惑いながらも保健所に助言を頂きながら行っていった。RSウィルスが流行したときは1、2歳児に蔓延してしまい感染を止めることができなかった。

安全管理

災害のマニュアルを作成したり、園舎遊具等の安全管理を進めていっている。大雨の時は災害の危険性に対して慎重に開園を判断していった。

特別支援教育

一人一人の特性を考慮した保育が行えるように努力はしているが、個性豊かな子ども達が多いため、現在の職員配置基準では細かいところまで、支援が行き届いていない。

組織運営

組織図をいかし、職員全員がチームとなり園の運営に参加しようとしている

研修(資質向上の取組)

コロナ禍のため、園内研修を控え、個別のリモート研修に参加した。

教育目標・学校評価

定められた目標を念頭に置き教育・保育に取り組みそれに対して自己評価、園全体評価を行った

情報提供

毎月のおたよりやブログ、クラス便り、地域の回覧板等を利用し情報を提供している

保護者・地域住民との連携

常に保護者と、情報の共有に努め、信頼関係を築くようにした。地域の方々と登園時やお散歩時などの時にあいさつをするようにしている。地域の子育てサロンへの参加がコロナ

子育て支援

園の保護者、地域の方達へ通信を回覧した。園開放は行えなかった。

預かり保育

保護者の実情により幼稚園の預かり、一般の預かりを実施している

教育環境整備

消毒をおこないながら、衛生面に注意し環境整備をおこなっている

③その他必要な評価

給食について

給食の衛生管理: 県の監査をうけ、安全をまもり行っている

アレルギー児への対応

医師の指導により、個々の状態に合わせて対応をしている

④課題と検討

コロナ禍2年目ということで、昨年より行事も感染対策をおこないながら行ってこられた。来年度は、感染症対策を取りながらどのように保育を進められるか、計画をし直し取り組んでいく必要がある。まずは、現在の計画書の様式を変更し、改善を進めていきます。